

2016年12月期 決算説明資料

株式会社RS Technologies
東証1部：3445

注意事項

- 当該資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営を取りまく様々な環境の変化により、予告なしに変更される可能性がございます。
- 本発表において提供される資料ならびに情報の中には「見通し情報」が含まれております。これらの情報は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実際には異なる結果となる不確実性を含んでおります。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- 資料中で「生産能力」についての記載は、全て当社グループの“300mm再生ウェーハ”の能力を指しております。

目次

2016年12月期決算情報	P. 4- 6
中・長期的な経営方針	P. 7-14
参考資料	P.15-23

2016年12月期決算情報

2016年12月期決算情報 ☆ サマリー ☆

三本木工場の生産力増加、及び台湾子会社が下期においてフル稼働となり計画達成。

単位：百万円

	2016年12月期 (2016年1~12月)	2015年12月期 (2015年1~12月)	前期比	2016年12月期 予算 (2016年1~12月)	達成率
売上高	8,849	5,545	159.5%	7,740	114.3%
営業利益	1,557	1,081	144.1%	1,531	101.7%
営業利益率	17.6%	19.5%	▲1.9Pt	16.9%	-
経常利益	1,450	937	154.7%	1,147	126.4%
経常利益率	16.3%	16.3%	0Pt	15.5%	-
当期(四半期) 純利益	869	304	285.8%	742	117.1%

2016年12月期決算情報 ☆ 会社別 ☆

- 台湾子会社においては、Q3までは対計画比で遅延したが、Q4に10万枚を超える生産・出荷を果たし、為替も円安に振れたことにより通期業績が大幅に改善した。
- RS Tec(日本)では、ボトルネック改善と収率アップによる生産能力増、及び、商社機能拡充による売上増が寄与し、増収増益となった。(増収増益は5期連続)

単位：百万円

	RS Tec (日本)	台湾子会社 (台湾)	連結消去	連結合計
売上高	7,817	1,161	▲129	8,849
営業利益	1,597	▲32	▲8	1,557
営業利益率	20.4%	-%		17.6%
経常利益	1,564	▲96	▲18	1,450
経常利益率	20.0%	-%		16.3%
当期純利益	920	▲80	29	869

中・長期的な経営方針

2017年度中期計画の概要

単位：百万円

会計年度	2017/12 (計画)	2018/12 (計画)	2019/12 (計画)
売上高	8,556	8,891	9,204
営業利益 (営業利益率)	1,939 (22.6%)	2,146 (24.1%)	2,432 (26.4%)
当期純利益 (1株あたり当期利益)	1,177 (216.49円)	1,346 (244.68円)	1,571 (285.48円)

今回発表数値についての考え方

《生産能力について》

三本木工場・台湾工場の現在の生産能力がベース

・2017年度

三本木工場は歩留り改善等により生産性が向上しており

月産20万枚、台湾工場は月産10万枚

・2018年度以降

台湾はボトルネック解消により10万枚超を見込む

《為替レート》

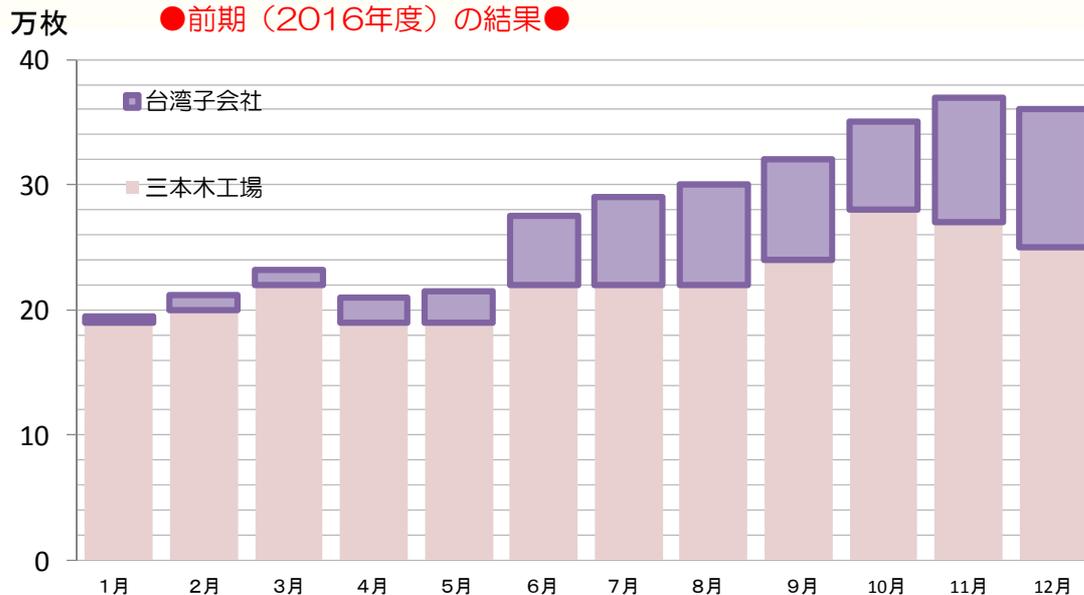
1ドル=107円 で予算化。

中・長期的な経営方針

- ①台湾子会社・三本木工場の生産力拡大
- ②再生市場での当社のシェア拡大
- ③伸長する需要の取込み
- ④潜在的な再生市場の開拓
- ⑤中国半導体マーケットへの参入

①「台湾子会社・三本木工場の生産力拡大」

～台湾子会社と三本木工場300mmウェーハ出荷枚数推移～
●前期（2016年度）の結果●



三本木・台湾ともに
フル稼働・フル生産

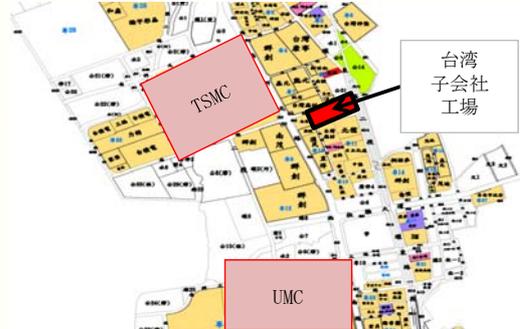
① 「台湾子会社・三本木工場の生産力拡大」

2017年度台湾子会社フル稼働へ

工場の外観

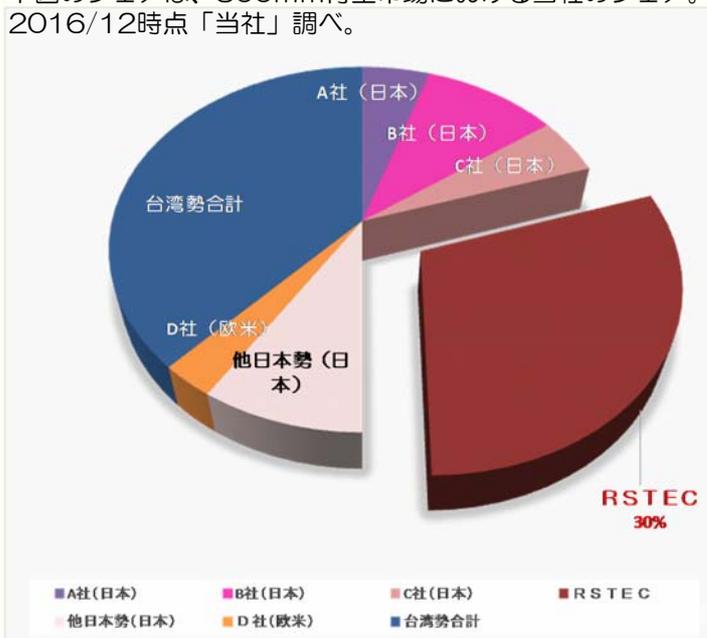


台南サイエンスパーク内地図



② 「再生市場での当社のシェア拡大」

下図のシェアは、300mm再生市場における当社のシェア。
2016/12時点「当社」調べ。



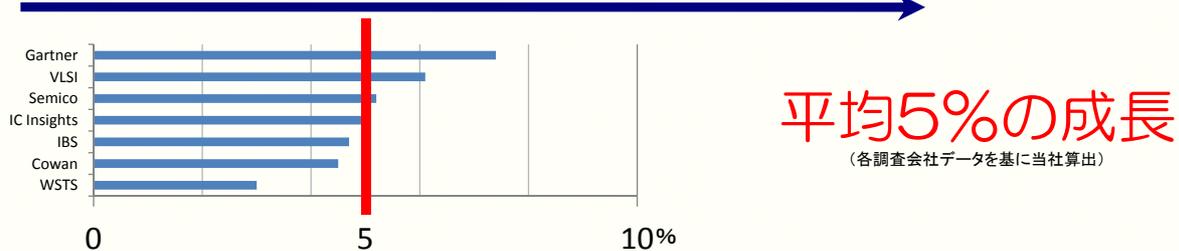
台湾の新設・三本木の増設により、生産能力が増加、現在のシェアは30%に上昇。

両工場の既存設備によるさらなる生産力のアップ、三本木の空工場利用、業務提携・M&A等の手法を用いて

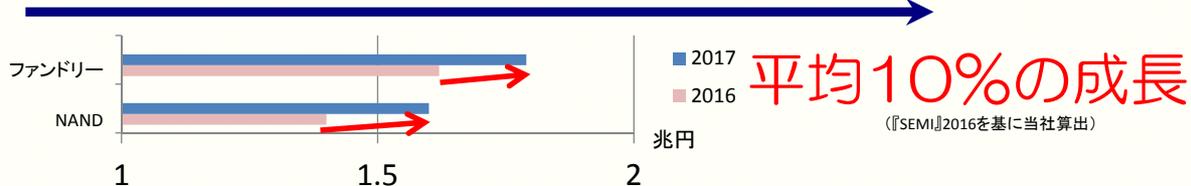
中期的に40%にシェアを拡大

③ 「伸長する需要の取込み」

2017年の半導体市場の予測(対2016年比)



2017年のNAND・ファンドリーの新規設備投資予測(2016年との比較)



2017年の新品ウェーハ単価予測(対2016年比)

平均15%増の単価
(報道、業界調査より当社算出)

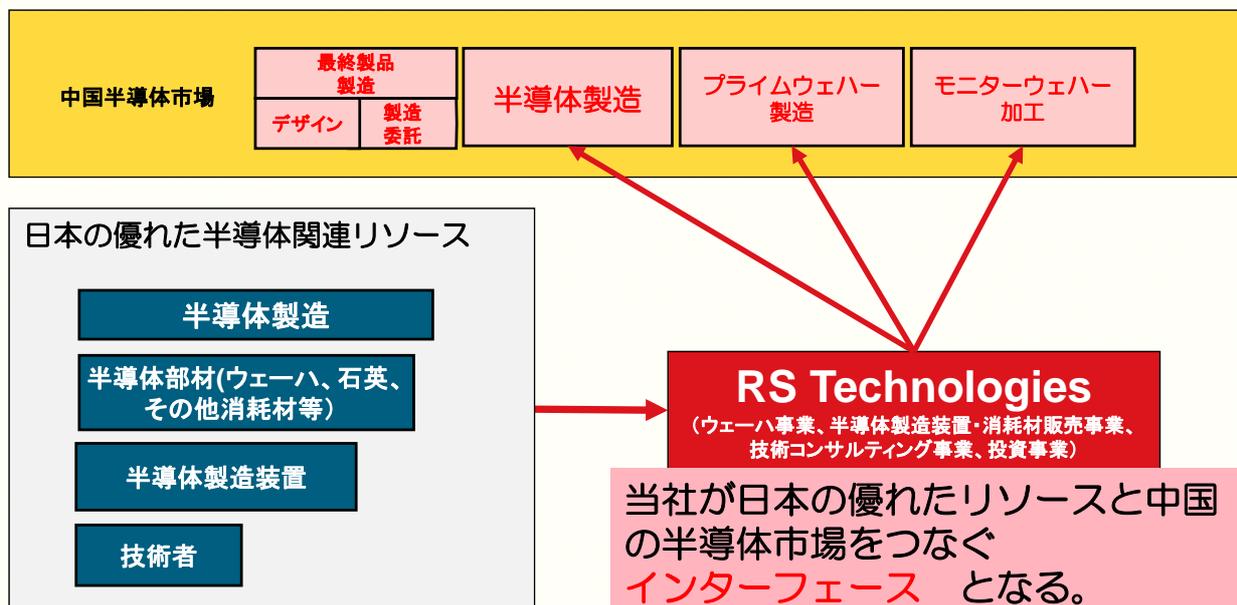
再生ウェーハ市場も需要増加が見込まれる。

⑤ 「中国半導体マーケットへの参入」

中国は2020年までに半導体産業に5兆円の投資を計画。

内製化のために、国内企業の育成と海外メーカーのM&Aを促進。

当社は、設立以来構築してきた中国半導体企業との関係をさらに強化し、中国市場に参入する。



ご参考

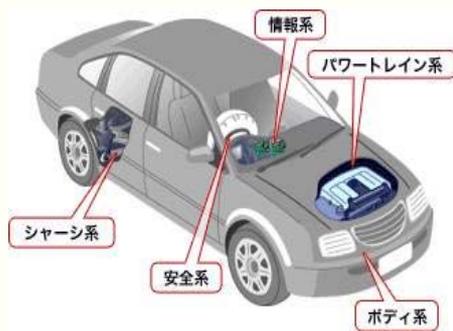
会社概要

社名	株式会社 RS Technologies
本社	東京都品川区大井1-47-1 NTビル 12F
三本木工場	宮城県大崎市三本木音無字山崎26-2
台南工場	No.1 Nanke 7th Rd., Southern Taiwan Science Park, Tainan City 74144 Taiwan
経営理念	「地球環境を大切にし、世界の人々に信頼され、常に創造し挑戦する。」
資本金	62,945万円（2016年12月31日時点）
取締役	方永義、本郷邦夫、鈴木正行、近藤淳行 石黒正亨、李宗根、渡邊泰紀、内海忠
設立	2010年12月10日
操業開始	2011年1月1日
事業内容	半導体用シリコンウェーハの再生、加工、販売、 ソーラー売電、 半導体製造設備・半導体部材（ターゲット材）販売

シリコンウェーハ再生事業-半導体とウェーハ

各種電気製品や自動車等の基幹部品となる半導体は円盤状のシリコンウェーハから作られます。
 当社は**使用済みシリコンウェーハの再利用を目的として、精密加工を行う会社**です。

シリコンウェーハ再生事業-半導体の用途



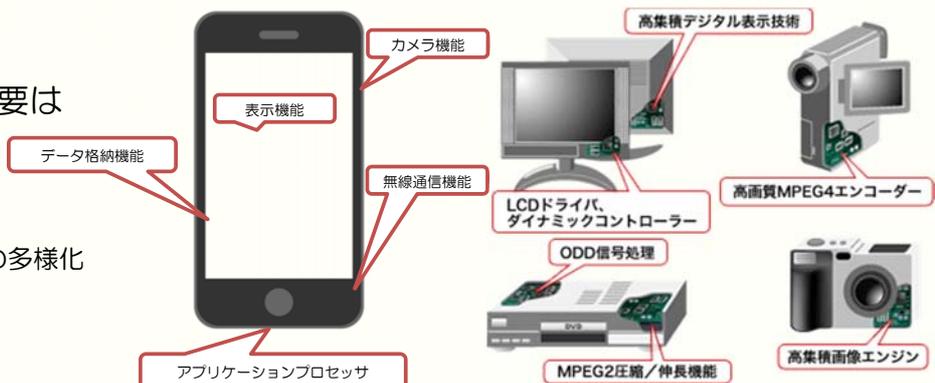
スマホ・タブレット
 ・ウェアラブル・自動運転
 ・家・ビル・町・IoT...etc



世界の半導体の需要は

- ★ 世界の人口増
- ★ 新興国の経済発展
- ★ 先進国のデバイス用途の多様化

により拡大



シリコンウェーハ再生事業-半導体製造概要

半導体製造のおおまかな流れ

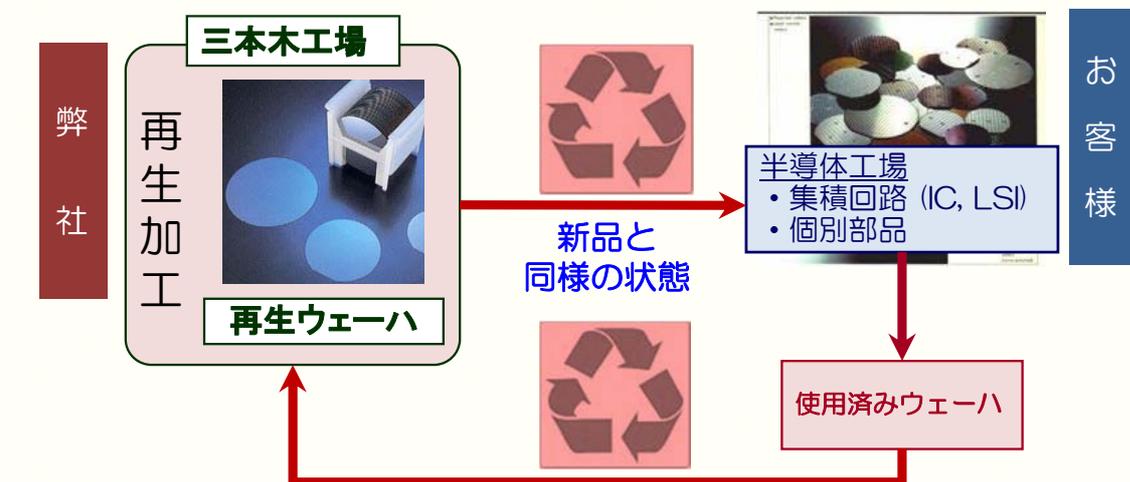


(3D) NAND・ファブドリーを中心に
当社の再生ウェーハが大量に使用されます。

シリコンウェーハ再生事業-再生とは？

半導体工場では700を超える工程がありますが、各工程のプロセス評価、出来栄の評価のために『モニタウェーハ』が使用されます。これらのモニタウェーハは、1回～数回使用されると使用不可となりますが、弊社は、これらのウェーハをお預かりし、精密加工をすることで再利用が可能な新品と同様の状態に戻し、同じ用途で使用していただくサービスを提供しております。

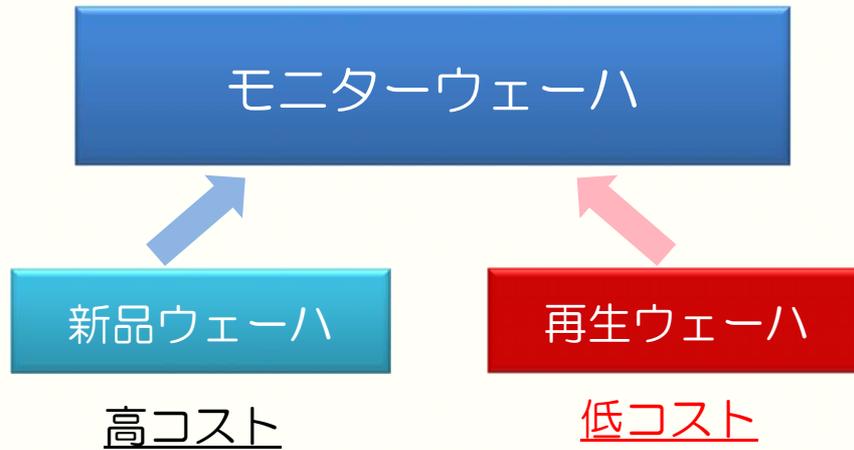
再生ウェーハはシリコンウェーハ全使用量に対し、20%強の需要があります。



シリコンウェーハ再生事業-なぜ再生が必要か？

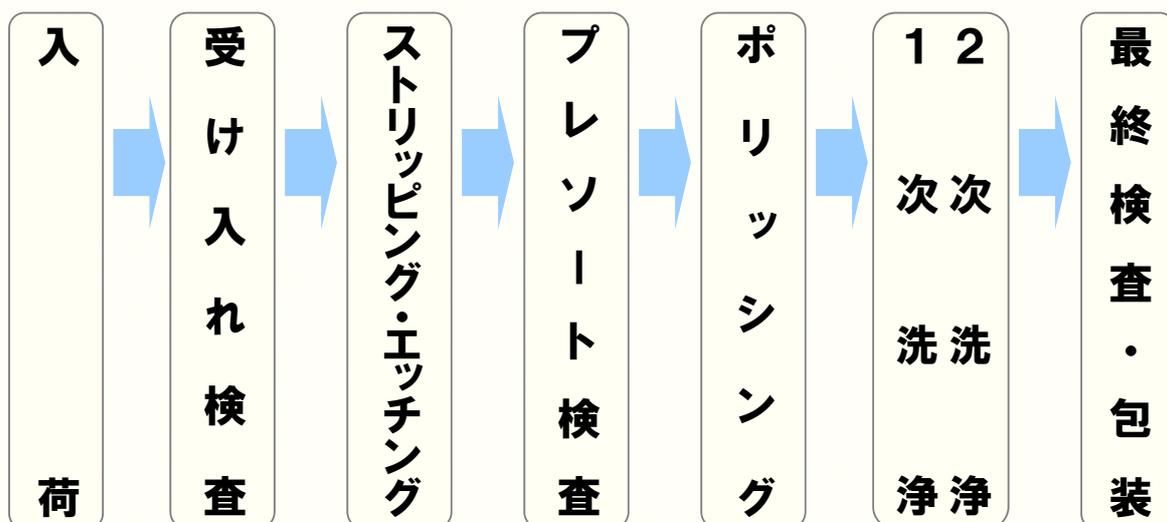
◇◇ なぜ再生ウェーハの需要があるのか？ ◇◇

◎一番の目的は、お客様の**コストダウン**のためです。

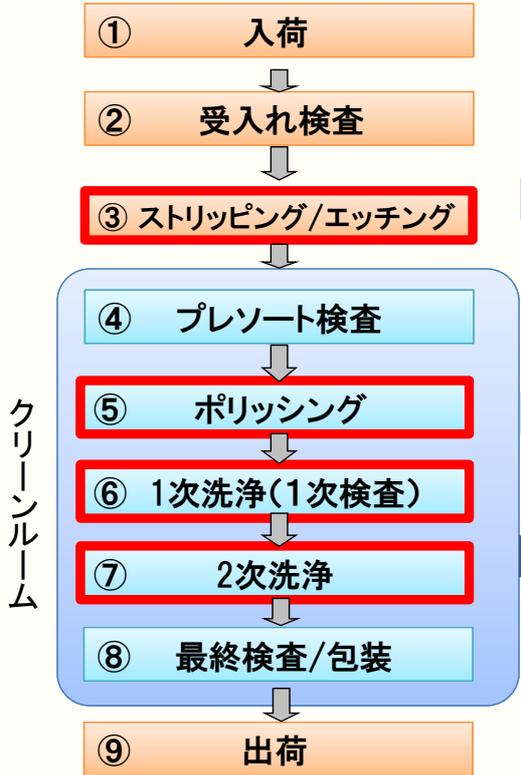


※環境負荷を減らすという目的もあります。

シリコンウェーハ再生事業-工程概要

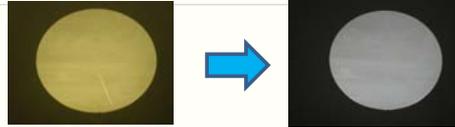


シリコンウェーハ再生事業 工程概要と 当社の強み



・強み①(すべての膜を剥離可能)
ケミカルによる除去の為、表面のダメージが最小限に→「再生回数が多い」→よりコストダウンが可能に。

★ラサ工業(化学)の特異技術を承継



・表面に付いているキズや凹凸を研磨(ポリッシング)により平滑にする



・強み②(金属不純物を除去)

ウエーハ表面の微細ゴミ、汚れ、を洗浄で取り除く
+ 金属不純物の除去

特に銅 (Cu) の汚染除去に強み

